

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・活動の時間を確保することで、児童が運動の楽しさを味わうことができた。
- ・学習課題を授業の始めに全体で共通理解することで、児童が協力して学習を行い、その課題を解決できる場面が増えた。
- ・技や動きのポイントを、学習カードや掲示物で提示することで、根拠の伴った知識をもとに、動きや技の習得につなげることができた。

(2) 課題

- ・場の設定を工夫したり、用具の工夫をしたりして、一人一人ができる楽しさを感じられるような工夫がより一層必要である。
- ・簡易なゲームを取り入れたり、スモールステップで技に取り組めたりする環境を設定することで、運動に挑戦しようとする態度を育て、運動の日常化を図る。
- ・ICT機器を活用することで、手本になる動きを確かめ合ったり、自分の動きを振り返ったりすることができるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な動きから取り入れ、苦手と感じている児童に自信をもたせ、技能の向上を目指す。 ・運動の場を増やし、教具を充実させ、いろいろな動きを経験させる。 ・具体的なめあてや運動方法などを示した学習カードを作成し、児童自身が技能の向上やめあての達成を把握できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉掛けを精選したり、共有する時間を確保したりすることで、友達のよい動きを見つけるきっかけをつくる。 ・学習カードに工夫やできたこと等を書かせることで、自らの動きを多角的に捉えられる素地をつくる。 ・技や動きのポイントを全体で共有し、よい動きを真似してみたり、取り入れたりする機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗や競争にこだわる児童が多いので、きまりを守って運動できたことや、友達と協力して取り組めたことなどについても授業中に価値付けていく。 ・どの児童も楽しくできる授業にするために、「〇〇の世界へ行こう」や「〇〇島へレッツゴー」など、単元名を工夫するなどして、学習環境を工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童ができる喜びや達成感を得られるように、課題やルール、用具等を簡易化する。 ・一単位時間ごとのめあてと、めあてを達成するため 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに児童の感想や考えを保存・蓄積することで、学びを積み重ね、次の単元でも自ら解決できるような素地を育てる。 ・掲示物や場の設定を工夫し、児 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを工夫した活動を設定したり、ペアやグループで関わる時間を増やしたりすることで、体を動かすことの楽しさを味わえる授業展開を行う。

<p>の視点を全体で共有する。 また、練習の場を多く設定したり、チームごとの練習タイムを設定したりすることで、自分たちの課題を自ら解決できる展開にして、課題解決しながら技能の向上を図る。</p>	<p>童が自己の課題に適した運動の行い方や場を選ぶことができるようにする。 ・技を見合ったり、動画で撮影したりして、作戦や動きの振り返りができるようにする。</p>	
---	--	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の動きの様相に応じた教師の関わり方を意識する。運動が苦手な児童には、直接技のポイントを指導する。 ・掲示物などで技のポイントを共有し、習得につながる知識を定着させる。 ・場の設定を工夫したり ICT 機器を活用したりすることで、個に応じた課題を解決できるようにする。 ・学習カードを活用することで、学習の見通しをもち、課題解決できる学習サイクルを形成し、確実に動きや技能が身に付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決が充実するよう、技や動きのポイントを確認できるように、掲示物を工夫する。 ・学習カードに学習成果や次時の課題を具体的に記述できるような欄をとり、学びを積み重ねられるようにする。 ・友達と見合い、動きの変化から課題を見付けるような協働的な学習を仕組むことで、友達に伝えたり修正したりする力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを実感し、意欲的に運動に取り組むことができるよう運動する時間を確保する。 ・自己の課題を解決するための教え合いの時間を必ずとり、友達と調整しながら活動を選択できるようにする。 ・運動の特性を押さえ、児童が熱中して取り組めるようなルールに工夫したり、場を設定したりする。